

子どものねがい!親のねがい!

昔の親も今の親も、子どもの健やかな成長を願い、子どもにとって良い親であろうとする気持ちは同じです。子どもも親に愛され、また、家族みんな楽しく過ごすことを望んでいます。

「楽しい家庭」を築くには、家族全員が協力し合わなければなりません。

子どもにとって心安らぐ家庭となるために、家庭を見つめなおしてはいかがでしょうか?

家庭教育

すべての教育の出発点です!

基本的な倫理観、社会的なマナー、自立心や自制心などを育成する上で重要な役割を担っています。

「親の学習」の背景となる基本的な考え方

「親の学習」は、「このように子育てをください」と押しつけるものではありません。子育てに関して「どのようなやり方や考え方があるか」を知り、「自分の家庭ではどのような子育てがよりよいのか」をじっくりと考える機会となるものです。

はじめから十分な子育てができる人はいません。
親も一つずつ学んでいきましょう。

「親の学習」ではこんなプログラムを進めます。

対象に応じた25のプログラム

対象	内容	プログラム番号
中学生 高校生	家族って何だろう?	1-①
	幼児を知ろう	1-②
	お母さんになるってどんな感じ?	1-③
	子どもを育てるって?	1-④
	乳幼児とふれあう	1-⑤
すべての 保護者	あなたにとっての「子育て」とは?	2-①
	子どもの育ち・子どもの目線で見てみよう	2-②
	「しつけ」ってなに?	2-③
	父親の出番?母親の出番?	2-④
	地域とのかかわりってなに?	2-⑤
乳幼児の 保護者	はじめまして、こんにちは	3-①
	子どもと一緒に生活習慣をつくろう	3-②
	子どもと遊ぶ	3-③
	こんなときどうするの?どうしたらいいの?	3-④
	ステップ・バイ・ステップ	3-⑤
小学生の 保護者	6年間の大きな成長	4-①
	子どもが元気になる生活リズムとは?	4-②
	育ちあい、話して深める親子関係	4-③
	社会マナーやルールは家庭から	4-④
	子どもと夢を語りましょう	4-⑤
中学生・ 高校生の 保護者	子どもでもない大人でもない	5-①
	デートの誘いはありますか?	5-②
	家族との絆・地域へのボランティア	5-③
	「我が子に限って」は危険です	5-④
	今どきの子どもの友人関係?	5-⑤

「親の学習」の特徴

- 子どもの発達段階にあわせた、埼玉県が独自に開発した25のプログラムを活用して行います。
- 一方的に講義を受ける「座学学習」ではなく、参加者がプログラムに積極的にかかわる「参加型学習」を基本にしています。
- 参加者が小グループを作り、意見交換やロールプレイング、役割演技など体験的な学びを交えて、楽しく学習します。
- 学習をとおして親どうしの交流のきっかけを作ります。交流による親どうしのつながりで、安心も生まれます。
- どの家庭にでもありがちなエピソードから、その登場人物の気持ちを考えて、自分の家庭を振り返ります。ですから、自然に子育てについて学ぶことができます。

第II章 「親の学習」プログラム

プログラム内容の例

第II章 「親の学習」プログラム

「親の学習」プログラム 2-③

「しつけ」ってなに?

「しつけ」ってなんでしょう?「うちは自主性にまかせるから」とか「放任主義だから」と「しつけ」は考えていないといわれる方がいます。ひとが社会の一員であるためには、ある一定のルールが必要になります。そのためには、やはり、「しつけ」は重要。家族の支えの中で、身につけていきます。

ワーク 1

つぎの資料を見て、気づいたことをメモしましょう。

エピソード

公園のブランコ前で

ブランコは子どもたちみんなが大好きな公園の乗りもの。いつも4つあるブランコは子どもでいっぱい。そして、待っている子どもたちがたくさんいます。
ブランコが大好きな子どもたちも、ずっと乗っていたいのですが、みんなの遊具ですし、次の子どもが待っているのです。やはり、順番を教えることが必要になります。とはいえ、スムーズに子どもが応じるはずは、ないのです。

ある秋の日。さくら公園のブランコの乗り場で、よしきくん、かなこちゃん、まさこちゃん、ゆうたくんがブランコに乗って遊んでいました。みなもうすぐ3歳になる子どもたちです。
ブランコの近くには、次に乗りたくて待っている子どもたちがたくさんいました。それぞれ、並んだり、砂場の方でこちらをちらちら見たりしながら、待っていました。
さて、かなこちゃんもまさこちゃんもゆうたくんもお母さんに言われて、ブランコをしぶしぶ次の友だちにゆずりました。
ところが、よしきくんは「絶対いやだあ。」と言って、ゆずりません。次に乗りたい子どもたちもじーっと見つめて待っていますが、「ぼくが先だから。」と言ってゆずりません。
おかあさんは、困ってしまいました…

それぞれの立場になって考えてみましょう。

- ①あなたがよしきくんだったらどんな気持ちでしょうか。
- ②では、おかあさんはどのような気持ちでしょうか。
- ③順番を待っている友だちなら、どのような気持ちでしょう。また、どうしますか。

メモ1

メモ2

メモ3

メモ4

ワーク 2

グループに分かれて、話し合ってみましょう。

- ①エピソードのような場面で、困った経験はありますか。
- ②エピソードの場面で、もしあなたがおかあさんならどうしますか。
- ③現在、あなたが「しつけ」として「困っていること」はありますか?
- ④グループ内で「順番で遊ぶこと」「順番で楽しむ遊び」について話し合ってみましょう。

